

本木勝利 議員



選挙は公平、公正が大原則

選挙管理委員長 不信の抱かれない選挙事務を実施

のつに、外鍵（南京錠）の錠棒がきちっと入っていない」と指摘がありました。私は開票管理者として、その事実を確認しました。

指摘後の対応

**本木** 本来、選挙の公平、公正の大原則からいえばあってはならないことです。不備の原因についてなぜそうなったかを調査し、立会人の方々に説明をして進めるべきと考えますがどうですか。

**投票箱の施錠不備**  
**本木** 4月に行われた町議選の開票作業時、投票箱の一つに施錠の不備があったと聞くがどうですか。  
**選挙管理委員長** 4月22日に行われた町議選の投票事務は、投票管理者と立会人、開票事務は開票管理者と立会人の協力を得て、おおむね円滑に執行されたと総括しています。

しかしながら開票前の点検で、立会人から「投票箱

**選挙管理委員長** 不正はなかったとして進めましたが、指摘後の対応として適正であったかを判断すると、配慮に欠ける事務処理であったと考えています。

**書記長** 指摘後の対応として必要だったことは、立会人に状況を詳しく説明し、不正がなかったという開票管

理者の意思の伝達があるべきだったと考えています。

再発防止へ向けて

**本木** 選挙管理委員会として再発防止の対策をどうしますか。

**書記長** 開票の事務従事者の方々に前日説明しますが、当日も徹底していきます。



公正な投開票管理を

投票箱の送致や開票前などに、その都度のチェックも強化していきます。

町長としての所見

**本木** 選挙事務に多くの職員が携わっていますが、今までの問答を聞いて、町長はどのような考えを持ちましたか。

**町長** 選挙事務には、多数の職員が一致協力しながら行っています。今後は誤りの無いように的確、適正に執行をするようにお願いをしたいと思います。

さらなる緊張感が必要

**本木** これからは、さらに緊張感を持って選挙事務を行う必要があると思います。選挙管理委員長の考えをお聞かせします。

**選挙管理委員長** この度は配慮に欠けたものがあり、ご指摘のとおりと考えています。今後は不信の抱かれることの無いようにしていきます。